

市長の政治責任

新ごみ処理施設建設や学校
統合問題への姿勢

細谷 美恵子
(発言と行動する会)

私は、この4年間「議員・議会の存在意義とは何か」、同時に、「行政の究極的責任はどこにあるか」、について追及してきた。特に、新ごみ処理施設の建設場所や小中学校統合問題については、市長の政治責任を明確にした上で、行田市民に無用な心配と負担をかけないよう議論すべきと考える。

影響が出ないよう現行施設の適切な維持を組合に要請していく。

「処理場が鴻巣に行くのは反対だ。まして15億円の温浴施設の建設に行田の税金を使つなんてとんでもない」という声ばかり聞かぬが、市長はそういう声を聞かないか。

行田から施設がなくなるのはいいことだと聞く。1日4、500台の車が往復するため、安心安全を考えれば本市に建設することはできないと聞いている。

市長独走で決めている印象だが、市民の意見は聞いているか。

議会の承認を得て進めている。

議会では三市共同で進めることは承認したが、建設地を鴻巣とすることは承認していない。

建設地については平成25年に議会で説明した。

2月14日、組合議会の閉会后、施設の稼働が1年延期となると突然伝えられた。市長はいつから知っていたのか。

1月16日に報告があった。適切に対応するよう事務局へ指示した。

なぜ議会開会中に発表せず、事後報告にしたのか。稼働延期による市民生活への影響は無いのか。

液体ミルクは成分が母乳に近く、吸い口を装着すればすぐに飲むことができる。夜間や外出時の授乳のほか、水や燃料が確保できない災害時にも使用できることが大きな利点である。

また使い捨て哺乳ボトルは、プラスチック製で消毒済みのため、安心して授乳ができるとして防災用の備蓄が進んでいる。

粉ミルクの備蓄状況と、液体ミルクや使い捨て哺乳ボトルの備蓄について市の考えは。

今年度から粉ミルクと使い捨て哺乳瓶を順次整備する。また、液体ミルクについては備蓄物資としての有益性を調査、研究していく。

どこに、どのくらい整備されるのか。

指定避難所である小中学校24校のうち半数の12校に、それぞれ粉ミルク4缶、哺乳瓶25個を備蓄していく。残る12校については、来年度の配備を考えている。

今春から液体ミルクの流通が始まる。今後、粉ミルクと併用し備蓄の充実を図る考えは。

粉ミルクと比べ利便性が高いと認識をしている。今後、全国的な動向を注視していく。

高齢者肺炎球菌予防接種について

厚生労働省は、今年3月までの肺炎球菌ワクチンの定期予防接種について、2019年度から5年間の延長を決めたが、新年度からの取り組みは。

新たに65歳になる方全員及び70歳から100歳までの5歳刻みの年齢に達する方で、前回の経過措置の時に接種していない方に対し、受診券を個別送付するとともに、市報で周知を行う。

液体ミルクは成分が母乳に近く、吸い口を装着すればすぐに飲むことができる。夜間や外出時の授乳のほか、水や燃料が確保できない災害時にも使用できることが大きな利点である。

また使い捨て哺乳ボトルは、プラスチック製で消毒済みのため、安心して授乳ができるとして防災用の備蓄が進んでいる。

粉ミルクの備蓄状況と、液体ミルクや使い捨て哺乳ボトルの備蓄について市の考えは。

今年度から粉ミルクと使い捨て哺乳瓶を順次整備する。また、液体ミルクについては備蓄物資としての有益性を調査、研究していく。

どこに、どのくらい整備されるのか。

指定避難所である小中学校24校のうち半数の12校に、それぞれ粉ミルク4缶、哺乳瓶25個を備蓄していく。残る12校については、来年度の配備を考えている。

今春から液体ミルクの流通が始まる。今後、粉ミルクと併用し備蓄の充実を図る考えは。

災害時備蓄品

液体ミルクと使い捨て哺乳
ボトルについて

二本柳 妃佐子
(公明党)

空き家対策

ものづくり大学学生用
シェアハウスの活用

梁瀬 里司
(黎明21)

ものづくり大学の学生は、2年生になると寮を出なくてはならず鴻巣市に居住していると聞く。学生に本市に住んでもらうため、また空き家対策として、空き家を学生用のシェアハウスに活用すべきと考えるがどうか。

学生が市内に居住することは、地域の活性化や空き家対策につながるものと考ええる。今後、シェアハウスのニーズを把握し、民間賃貸物件との需給バランスや公平性に配慮しつつ、空き家バンク制度の協定不動産団体や空き家所有者に働きかけるなど、総合的な空き家対策に取り組んでいく。

公共施設エレベーター災害時対策

大規模地震発生時など、建物のエレベーター内に長時間閉じ込められるケースがある。市民の安心安全のため、公共施設エレベーター内に、平常時は椅子として、災害時は簡易トイレとして使用できる、電灯や水などを備えた防災椅子を設置すべきと考えるがどうか。

昨年発生した大阪府北部地震でも、エレベーター内に人が閉じ込められる事案が発生したため、椅子型の防災キャビネットを設置することは万が一の備えとして大変有効である。今後、施設ごとに必要性を判断していく。

その他の主な質問

市内循環バス、バス停椅子の設置

学校屋外トイレの改修

学童の休日の見直し

観光協会の民営化

